



授業を大切にす

引き続き面接を続けているが、やっぱり印象としては理系が多い感じである。

*

そういう意味では、やはり2年生の勉強は重要になるだろう。数学Ⅱは、理系の数Ⅲ…これはなかなか難関らしい…の基礎になるわけだから、ここで不得意になるわけにはいかないし、物理基礎と化学基礎は、これまた理系の重要科目である物理と化学の基礎であり、授業では、一部先取的に物理・化学の内容も取り入れていくらしいので、決しておろそかにはできないだろう。

その分、文系の人にとっては、2年の学習内容は負担になる部分もでてくるに違いない。しかし、5教科全科目が得意という人はめったにいないことを考えると、ここが頑張りどころで、難しい内容ではあっても、少しでも理解できる部分を増やして、不得意の不得意度を下げる努力をすべきである。特に数学については、文系でもセンター試験で数ⅡBまでを範囲として課す大学が圧倒的なわけだから、ここは一つ心を決めて、食らいついていくことにしよう。

逆に理系の人にとっては、地歴で選択しないとなると、世界史はかなり重い科目になる危険性がある。

しかし、文系・理系どちらにしろ、繰り返すが、諦めずに、少しでも不得意度を下げる努力を継続しよう。その第一歩は、やはり授業を大切にすることだ。分からないからといって投げ出していたら（寝ていたら）、ますます分からなくなるだけだということは、頭では分かっているはずだ。ちょっとでもイ

から、その場で理解できることを増やす努力をしよう。「波動」で物理がちんぷんかんぷんになった身としては（ちなみに、数学は「数列」でちんぷんかんぷんになったなあ…）、その大変さは理解できるつもりだが、それでも諦めずに努力することを君たちには期待したい。

それと、前にも書いたが、自分は不得意だからといって授業の雰囲気壊すようでは、一生懸命やろうとしている人の足を引っ張ることになる。そのことも視野に入れられるようになってほしいものだ。

*

部活の先輩などから「●●先生は～～」というような話を聞くこともあるだろう。そういう時は、どちらかというとマイナスの評価であることが多い。しかし、そういう評価を鵜呑みにするのではなく、その先輩の語った評価が本当なのか、さらに、先輩にとってはそういう評価であっても、自分にとっては別の評価になる可能性があるのではないか、さらに、先輩のクラス全体の雰囲気がどうだったのか、今の25Rの雰囲気とは違うのではないか、そうなれば、先生との関係だって違ってくるし、授業の質だって違ってくるかも知れないではないか…といった観点も含めて、授業を大切にしてほしい。

なんと言っても、一日の大半を授業を受けて過ごしているのだ。その授業をイイ物にできるかどうかは、やはり2年後の結果と大きく結びつくに違いない。授業を大切に、日々、実力を養っていこう。